



未来の機械

滑川 諒

将来ぼくは、ロボットを作ってみたいです。

ぼくは機械をつくって人のために役立つ仕事を

をしてみたいです。たとえば、会社にちこく

し、そうなきでも花の速さで走る車や、体の

不自由な人も運転出来る車、家事を手伝っ

てくれるロボットなどを作る仕事です。

こんなことを想像していろいろうちに、未

来の機械「はどんな物か」ということを考えま

した。未来の機械は大きく分けて二つあり

、一つは不便を便利にする機械です。道案内を

してくれるロボット、人のかわりにきけんな

仕事をしてくれるロボットなどです。もう一

つは、不可能を可能にする機械です。これは、

時を自由に行き来出来るタイムマシンなどで

す。

また、ぼくは自分のためには、サンタ飛

見機「をくくってみたいです。クリスマス

の日に、み時間部屋をかん視して、サンタ

ワロースが来たら教えてくれる機械です。な
 ぜかというところ、だれも教えてくれないので、
 自分で解明したいからです。「サンワ発見機
 ー」をつくときは、24時間かん視できるよう
 に電池などをたくさんつんでサンワワロース
 をにんしきしないといけなしい、どうやって
 サンワワロースがいたことを教えてくれるの
 かなどとたくさん問題はあつたけれど、せつた
 い実現したいです。
 しかし、社会を便利にしようとして機械をどん
 どんつくとかんきょう問題が起きると思ひいま
 す。電池はリサイクル思来ないからゴミ問題
 になります。また、ガリリンは、地球温
 化を進めます。そしてもう一つの問題は、ト
 ヲが弾動不足になることです。どんどん機械
 が身近になると、自分が動かないで、機械に
 全部仕事をまかせるからです。機械を開発す
 るとサンワ、問題が起きますように作りたいで
 す。

ぼくは、人の役に立つ機械を作るために、

